

第53回 地域リハビリテーションケース会議

【テーマ】

その人らしい暮らしの再構築を目指した リハビリテーション支援のあり方

～地域リハビリテーション諸活動を活かした患者支援の経験より～

今回は、脳梗塞後に左片麻痺の後遺症が残りながらも、本人の「やりたい」気持ちを引き出し、患者会との関わりをきっかけにしたアクセサリー作りの資格取得からワークショップの開催まで本人の目標達成につながった事例を紹介します。

自信を取り戻す過程や実際の活動につなげるための支援者の視点を学ぶ機会にしたいと思いますので、ぜひご参加ください。



【日時】 令和8年10月14日(水)
18:30～20:00

【場所】 ウェルとばた 中ホール

【対象】 保健、医療、福祉、介護の関係者、その他関心のある方

【申込み】 QRコードからお申込みをください。



期限：10/9(金)

コーディネーター: 浜村 明德 氏 (小倉リハビリテーション病院 名誉院長)
橋元 隆 氏 (九州栄養福祉大学 理学療法学科 教授)

事例報告者: 和田 歩 氏 (小倉リハビリテーション病院 理学療法士)
田川 勇蔵 氏 (小倉リハビリテーション病院 作業療法士)